



本事業は、SDGsの「17 パートナシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2024年10月19日（土）
愛知県政策企画局
国際課渉外・交流グループ
担当 上窪、中根
内線 2256、2446
ダイヤル 052-954-6181

愛知県経済産業局産業部
産業立地通商課国際業務企画グループ
担当 篠田、鈴木
内線 5296、5298
ダイヤル 052-954-6356

愛知県経済産業局革新事業創造部
海外連携推進課海外連携グループ
担当 富樫、小林
内線 5181、5189
ダイヤル 052-954-7474

知事の中国渡航中の行事結果について

2024年10月18日（金）午前、知事は中華人民共和国広東省深圳市において、愛知県と「包括交流に関する覚書」を締結している清華大学の研究・大学院教育機関である清華大学深圳国際研究生院を訪問しました。その後、深圳市内の経済特区である前海深港現代サービス業協力区を訪問し、同地区内の施設を視察しました。また、深圳市人民代表大会常務委員会の蒋宇揚副主任と面談しました。

午後には、現地企業の広東Tusグループ及びZ T E Corporationを訪問しました。

1 清華大学 深圳国際研究生院視察（担当：国際課）

（1）日時

2024年10月18日（金）午前9時から午前9時45分まで

（日本時間10月18日（金）午前10時から午前10時45分まで）

（2）場所

清華大学 深圳国際研究生院（深圳市）

（3）応対者

武曉峰 清華大学 深圳国際研究生院 党委員会書記

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

（5）内容

大村知事は、清華大学の研究・大学院教育機関である清華大学深圳国際研究生院を訪問し、武曉峰 党委員会書記と面談しました。

始めに武書記から、愛知県知事の訪問に対する歓迎の意が示され、続いて、清華大学深圳国際研究生院の設立経緯や、国際的な協力と貢献を深めるためグローバルなキャンパス形成を目指し、世界中から教員や学生を集めているといった取組が紹介されました。また、「深圳は移民の街であり、深圳市も都市の国際化を目指している。このキャンパスはそうした流れを受け、学生たちが海外の大学や企業で活躍できる人材となることを期待しており、愛知県とも是非交流を進めたい。」との発言がありました。

大村知事からは、トヨタ自動車を始めとした多くの愛知県企業が広東省に進出していることを紹介するとともに、先の広東省政府訪問において、王偉中^{おういちゅう}省長と面談し、愛知県と広東省が今後も更に交流を深めていくことを確認した旨を説明しました。加えて今回、北京の清華大学訪問において、2019年に清華大学と締結した連携協定の覚書を更新し、特にイノベーション、スタートアップの分野で引き続き連携を強化していくことで合意したことを紹介し、「10月31日にグランドオープンする STATION Ai を拠点に、更なるイノベーションの取組を進めていきたい。」と発言するとともに、この後、広東 Tus グループを訪問することにも触れ、「清華大学・Tus グループと引き続き協力連携していきたい。」と発言しました。

その後、学園都市となっている深圳^{しんせんたいがくじょう}大学 城（清華大、北京大、ハルピン工科大）敷地内を視察し、今後は北京の清華大学に加え、深圳の清華大学深圳国際研究生院とも交流を深めていくことを確認しました。

<清華大学 深圳国際研究生院>

(1) 設 立 2019年3月

(2) 学生数 5,856人

(3) 教員数 229人

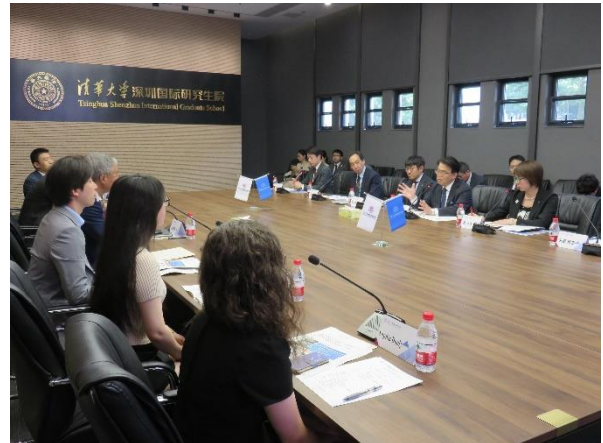
(4) 概 要

- ・中国南部に位置する清華大学の研究・大学院教育機関。
- ・施設の特徴として、インターナショナル、ボーダレス、アントレプレナーシップの3つを挙げている。
- ・国際的なリソースと、深圳とグレーターベイエリア*の技術的及び産業的優位性を活用して、イノベーションエコシステムの確立に取り組んでいる。

※グレーターベイエリア：広東省の9つの市、香港、マカオを総称したもので、グローバルに影響を持つ中国南部のイノベーションハブ。



武書記との面談の様子①



武書記との面談の様子②



武書記と記念品交換



出席者の皆さんとの記念撮影
(左から3人目が武書記)

2 前海深港現代サービス業協力区視察（担当：国際課）

(1) 日時

2024年10月18日（金）午前10時25分から午前11時10分まで
 （日本時間10月18日（金）午前11時25分から午後0時10分まで）

(2) 場所

前海展示庁（深圳市）

(3) 応対者

李京^{りきょう} 広東自由貿易試験区深圳前海蛇口エリア管理委員会及び前海管理局国際合作処^{がっさくしよ} 責任者

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、深圳市西部海岸の埋立地に位置する経済特区である前海深港現代サービス業協力区（以下「前海地区」という。）を訪問しました。

始めに、前海展示庁において、前海地区は、広東省内の9市、香港、マカオを含むグレーターベイエリアの要衝であり、2010年には干潟であった同地区が、深圳と香港の共同発展のモデルエリアとして急速に発展したこと、また、国際空港及び国際港湾、鉄道が整備された立地条件、税制優遇制度、海外からの投資や企業進出の状況等の前海地区の現状について説明を受けました。

続いて、高層ビルの上層階に移動し、前海地区一帯を展望しました。同地区に浮かぶ島の特徴、埋め立て地形成に至るまでの経緯、港湾や道路の整備状況、同地区と香港との関係、今後の開発計画等について説明を受けました。

<前海深港現代サービス業協力区概要>

深圳市西部海岸の埋立地に位置する経済特区。

2010年に中国政府が開発を承認。開発の重点分野は、金融、物流、情報サービス、科学技術サービス及びその他専門サービス業。

2012年に、香港と中国本土の協力の先導区、産業高度化の牽引区として位置づけられ、金融分野を中心に対外開放・規制緩和を先行的に進めてきた。

開発対象面積は、120.56平方キロメートル。(初期の面積は14.92平方キロメートルで、2021年に拡大)



視察の様子①



視察の様子②



李責任者との集合写真
(左から3人目が李責任者)



李責任者と記念品交換

3 深圳市人民代表大会常務委員会副主任との面談（担当：国際課）

(1) 日時

2024年10月18日（金）午前11時45分から午後0時30分まで
（日本時間10月18日（金）午後0時45分から午後1時30分まで）

(2) 場所

しんせんとうかいろうていしゅてん
深圳东海朗廷酒店（深圳市）

(3) 面談者

しょうよう
蒋宇揚 深圳市人民代表大会常務委員会 副主任

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、広東省内でも経済発展の著しい深圳市の蒋宇揚人民代表大会常務委員会副主任と面談しました。

始めに蒋副主任から、大村知事の訪問に対する歓迎の意が示され、成長を続ける深圳市の経済について紹介がありました。

大村知事は、「愛知県と広東省は2013年に友好交流と相互協力の覚書を締結して以来交流を続けてきており、2019年には友好提携を結び、更に交流を活発に進めてきた。友好提携から5周年の今年、6月に黄寧生こうねいせい広東省人民代表大会副主任を始めとする友好訪問団が来県し、この度は私が広東省の王偉中おういちゅう省長を訪ね、今後更に連携を深めて行くことを確認した。」と発言しました。

その上で、大村知事は「深圳で日本人学校の児童が刺殺された痛ましい事件については、極めて遺憾であり、深い悲しみを覚える。被害者の御冥福をお祈りする。広東省には非常に多くの愛知県企業が進出しているため、現地の日本人、とりわけ子供たちの安全確保のための具体的な措置を引き続きお願いしたい。なお、深圳では、多くの市民が花をたむけるなど哀悼の意を表していただいている。両国民の間には、こうした相互に思いやる気持ちがあり、これからも日中関係を前に向けて進めていきたい。」と発言しました。

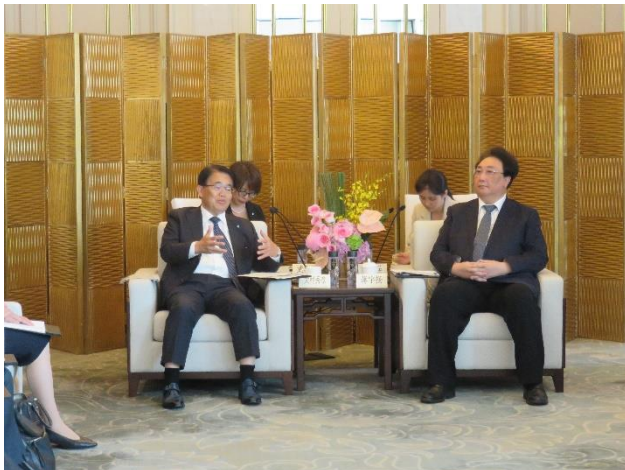
これに対して、蒋副主任は、「日本人の子供が被害にあった事件に関しては、哀悼の意を表す。深圳という法律が整備された場所でこのようなことが起きるのはとても悲しいことである。公安当局が現在原因究明に努めており、この事件が私たちの友好関係を傷つけないことを願っている。」と発言がありました。

大村知事は、「愛知県と広東省は共通の産業基盤、とりわけ自動車産業という共通の基盤があり、トヨタ自動車は広東省で広州汽車こうしゅうきしやと合弁事業を行うほか、EV事業ではビーワイディービーワイディーと連携して事業を行っている。」と発言したのに対して、蒋副主任は「愛知県の企業が広東省の企業と協力して事業を行っている話を聞いてとてもうれしい。両省県の企業がウィンウィンの関係を築いて行ってほしい。」と発言しました。

また、大村知事は、今月オープンする日本最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」を核とするイノベーション創出への取組や、清華大学との包括提携による傘下のTusホールディングスと連携したスタートアップ支援の取組、深圳に本社がある通信機器メーカーのZTE CorporationがSTATION Aiと連携することなどを紹介し、「深圳からもたくさんのスタートアップがSTATION Aiに集まっていたくことを期待している。」と発言しました。

さらに、大村知事が、「2025年6月に愛知県で開催される国際的な産業展『AXIA EXPO 2025』において、アジア諸国の企業や都市・政府などに出展いただくための『アジアパビリオン』というブースを開設するので、広東省政府、深圳市政府とともに、深圳の多くの企業にも参加いただけるとありがたい。」と発言したのに対して、蒋副主任は「とても興味深い展示会であり、たくさんの深圳の企業に声を掛けて連れていきたい。」と応じました。

最後に、大村知事はジブリパークについて紹介し、蒋副主任の愛知県訪問を呼びかけました。



蒋副主任との面談の様子



蒋副主任と記念品交換



出席者の皆さんとの集合写真
(右から5人目が武書記)

4 広東 Tus グループ訪問（担当：海外連携推進課）

(1) 日時

2024年10月18日（金）午後1時40分から午後2時40分まで

（日本時間10月18日（金）午後2時40分から午後3時40分まで）

(2) 場所

Tus^{たいか}大廈（深圳市）

(3) 応対者

黄冬萍^{こうとうへい} 広東 Tus グループ 総裁

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、清華大学の傘下組織である Tus ホールディングスの広東省エリアを統括する広東 Tus グループを訪問し、黄冬萍総裁と面談しました。

始めに黄総裁から、知事の訪問に対する歓迎の意と、これまで愛知県が北京の Tus ホールディングスと連携事業を行ってきたことを高く評価するとともに、今後は広東 Tus グループとも連携していくことへの期待が述べられました。

大村知事からは、今回の渡航で清華大学との覚書を更新し、スタートアップ分野を始めとした様々な分野で引き続き連携していくこと、また、北京の Tus ホールディングスとの間で、双方のスタートアップの市場展開支援や人的交流を継続していくことで合意したことを説明しました。さらに、先に訪問した広東省政府において、王偉中省長と対談し、愛知県と広東省が今後も更に交流を深めていくことを確認した旨を説明しました。

そして大村知事は、「10月31日にグランドオープンする STATION Ai を拠点として、今、世界中にネットワークを構築している。中国においては、清華大学、Tus ホールディングスと連携しており、中国発の多くのスタートアップに STATION Ai に来ていただきたい。そこでしっかりと連携し、双方のイノベーションの発展につなげたい。」と発言しました。また、2025年6月に愛知県で開催される国際的な産業展「AXIA EXPO 2025」を紹介し、広東 Tus グループの関連企業にも参加を呼びかけました。

黄総裁からは、「大村知事がスタートアップを重視し、STATION Ai を拠点に世界の国々との連携を戦略的に進めていることには先見の明があり、とても重要なことだと思う。我々広東 Tus グループは、愛知県との今後の連携が必ず上手くいくと確信している。」との発言がありました。

これに対し大村知事からは、「広東省と愛知県は強い連携関係にある。広東 Tus グループともしっかりと連携していきたい。」と発言し、今後は北京の Tus ホールディングスに加え、広東 Tus グループとも連携したスタートアップ分野での連携・交流を進めていくことで合意しました。

＜広東 Tus グループ概要＞

(1) 設 立 2020 年

(2) 董 事 長 とうじちょう 郭 甲 かくこう

(3) 事業概要

- ・ 広東 Tus グループは、Tus ホールディングスがグレーターベイエリアに設立したグローバルなインキュベーション拠点を持つスタートアップ支援機関。
- ・ 主なインキュベーション拠点は、深圳 5 拠点、広州 2 拠点、その他 4 拠点であり、グレーターベイエリアの科学技術創新を推進している。



インキュベーション施設を視察



スタートアップの製品紹介



黄総裁との面談の様子



黄総裁と記念品交換



黄総裁との記念撮影

5 ZTE Corporation 訪問（担当：産業立地通商課）

（1）日時

2024年10月18日（金）午後2時55分から午後4時30分まで
（日本時間10月18日（金）午後3時55分から午後5時30分まで）

（2）場所

ZTE Corporation 本社（深圳市）

（3）応対者

めいちゅうか
梅中华 ZTE Corporation 上級副社長

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

（5）内容

大村知事は、深圳市の通信設備及び通信端末の開発・生産を行う ZTE Corporation を訪問しました。

始めに大村知事は、ZTE のショールームを訪問し、同社の半導体チップや、災害時用移動式 5G 通信設備、産業用ロボット、最先端の通信端末などが、様々な産業分野や海外企業の製品に活用されている状況や、グローバル市場における企業連携などについて説明を受けました。

ショールームの視察後、大村知事は梅上級副社長と面談しました。

始めに、梅上級副社長から ZTE Corporation の事業概要について紹介があり、同社は、サーバーや 5G 通信を始めとしたネットワーク製品や、スマートフォンなどのエンドユーザー向けの製品の製造販売を行い、ここ 10 年で同社の製品数が世界で 5 倍に増えていることや、1998 年から国際化を目指す戦略を開始し、日本においてもソフトバンクや KDDI などと連携していることを説明し、「今月末にグランドオープンする『STATION Ai』に注目しており、今後、日本や愛知県での色々なビジネスチャンスに関わっていきたい。」と発言しました。

次に大村知事は、初めに中国語で挨拶をした後、「ショールームを見学して、御社が最先端のデジタル技術を有していることを大変よく理解できた。」と見学の様子を振り返りました。続いて、自身が知事になってから中国への訪問が 13 回目で、広東省への訪問が 4 回目であることを紹介した上で、10 月 31 日にグランドオープンする日本国内最大のスタートアップ支援施設「STATION Ai」について、ZTE の日本法人のサポートに謝意を表すとともに、「日本の自動車メーカーや、通信会社、メガバンクなど主要企業が入居するため、御社とも色々な形で連携できると思う。」と発言しました。

また、大村知事は、「2025 年 6 月に愛知県で、国際的な産業展『AXIA EXPO 2025』が開催される。アジア諸国の企業や都市・政府などに出展いただくための『アジアパビリオン』というブースを設置する予定である。御社の日本法人におかれては、是非一緒に参加して盛り上げていただきたい。」と発言し、これに対し、梅上級副社長は「前向きに検討する。」と応じました。

<ZTE Corporation 概要>

(1) 設 立 1985 年

(2) 代表者 りずしゆえ 李自学

(3) 事業概要 通信設備及び通信端末の開発、生産。



梅上級副社長との記念撮影



梅上級副社長との面談の様子



梅上級副社長と記念品交換



出席者の皆さんとの記念撮影
(左から3人目が梅上級副社長)

中国渡航日程の概要（予定）

2024年10月13日（日）～10月19日（土）：6泊7日

日程 (現地時間)		主な行事	宿泊地	行事結果 配付予定 (日本時間)
10/13 (日)	16:40 19:45	東京国際空港（羽田空港）発（JL025） 北京首都国際空港着	北京市	—
10/14 (月)	09:10 11:00 15:00 17:30	DiDi 訪問 Tus ホールディングス訪問 中国全国人民代表大会外事委員会主任委員との面談 清華大学との覚書更新	北京市	10/15（火） 午後2時
10/15 (火)	08:50 13:30 16:45 18:40	Pony. ai 及び華豊燃料電池有限公司訪問 北京大興国際空港発（CZ3106） 広州白雲国際空港着 駐広州日本国総領事との面談	広州市	10/16（水） 午後2時
10/16 (水)	10:05 14:30 17:30	小鵬汽車訪問 中国輸出入商品交易会視察 広東省省長との面談	広州市	10/17（木） 午後2時
10/17 (木)	10:05 14:00	广汽トヨタ自動車有限会社訪問 東莞市へ移動 ファーウェイ溪流背坡村キャンパス (オックスホーン・キャンパス) 訪問 深圳市へ移動	深圳市	10/18（金） 午後2時
10/18 (金)	09:00 10:25 11:45 調整中 13:40 14:55	清華大学 深圳国際研究生院視察 前海深港現代サービス業協力区視察 深圳市人民代表大会常務委員会副主任との面談 深圳市長との面談 広東 Tus グループ訪問 ZTE Corporation 訪問	深圳市	10/19（土） 午後2時
10/19 (土)	12:10 17:20	深圳宝安国際空港発（ZH753） 中部国際空港着	—	—

中国の現地時間は、日本時間－1時間です。

※日程については、調整中であり変更となる可能性があります。